

歴史を感じる

安田会長の「まちばたけ温故知新」

のコーナー

町畑の伝説

桜ヶ丘団地から小久保に降りてくる途中の西側に、こんもりとした杉林があるのに気づくだろうか？ この林の中に、蔦林家が代々まつる「高清水神社」がひっそりとたたずんでいる。この神社は「千子大明神」とも呼ばれ、千魚又次郎（センコマタジロウ）と八百長歳（ハッピーヤクチョウザイ）兄弟がまつられている。

伝説によると、今から六百年ほど前までは、幅が三十メートル余の川が美保野の「ホロド」付近から小久保を経由して寺沢に入り、新井田川に合流していたそうだ。現在の都市下水路が川の跡ではないかと推測している。

この川は小久保川と呼ばれ、海から鮭・鱒（マス）が遡上し、農民たちが川筋に四十八か所もの魚留め（やな場）を作り、競って獲っていたという。中でも、神社にまつられている又次郎、長歳兄弟は「川ネコ」と言われるほどのベテランで、一晚に兄の又次郎は千尾、弟の長歳が八百尾も獲ったという伝説が残されている。それ以来、豊漁の神様として漁師に信仰されてきた歴史があるとのこと。

この伝説に興味を持った湊子ども会局長の石田清氏が、紙芝居の制作を企画している。町畑地区の伝説が紙芝居になることはとても光栄なことであり、今から完成が楽しみである。

PTA会長 安田勝寿



←高清水神社の写真を使いたかったのですが、屋根が壊れてブルーシートがかぶせてある状態なのでやめました。

替わりに、境内の湧水を写してきました。昔から涸れることなくこんこんと湧き出ているそうです。水道が無い時代には、地域の住人がここから湧き水を汲んで生活していたそうです。

華麗な泳ぎ ★プール朝会★

八月二十四日水、町畑小学校では初めてのプール朝会が行われました。この日は曇一つない晴天で日差しも強く、絶好のプール日和。五・六年生の中から選ばれた十二人が、日ごろの練習の成果を全校生徒の前で披露しました。蔦林校長の解説に合わせて、クロール、平泳ぎ、背泳ぎなど次々と華麗に泳ぐ五・六年生。その姿を見るたびに子どもたちからは「おおーっ」と大きな歓声が上がりました。上手に泳ぐ姿を見た子どもたちもとてもよい刺激になったようです。



元気いっぱい ラジオ体操



七月二十二日（金）。町畑地区「めざせ健康家族町畑」をスローガンに、子ども会によるラジオ体操が町畑小学校でありました。子どもたちは眠い目をこすりながら、校庭に集まっています。ここでラジオ体操をするのは初日のみ。翌日からは、各町内会で行われました。子どもたちは、いつもと違うラジオ体操に、のびのびと楽しそうに体を動かしていました。